

～保険金不正請求検知ソリューションの導入～

AI（人工知能）技術を活用した保険金支払業務の高度化について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）ならびにあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉恭三）は、フランスのスタートアップ企業であるシフトテクノロジー社（CEO：ジェレミー・ジェウィッシュ）との間で、今般、同社が提供する保険金不正請求検知ソリューション「フォース™」を導入することに合意しました。

「フォース™」は、膨大な過去の保険金支払データをAI（人工知能）技術により分析することで、不正の疑いがある請求を迅速かつ効率的に検知します。昨今、社会問題となっている不正請求の削減に向け、保険金支払業務の高度化を支援します。

三井住友海上ならびにあいおいニッセイ同和損保は、今後も、健全かつ安定的な損害保険制度を運営するため、適切な保険金のお支払いに努めていきます。

1. 「フォース™」の概要

(1) 運用開始時期

保険金システムの改修にあわせ、2019年4月以降段階的に導入します。

(2) 主な機能と期待される効果

膨大な過去の保険金支払データをAI技術により分析することで、不正請求と相関関係の高い事故データをリアルタイムにスコア化して検知します。

また、請求に関わる当事者等の隠れた関係性をネットワーク図にして可視化する機能も備えており、不正の疑いがある保険金請求を効率的に検知できるほか、これまで以上に迅速な保険金のお支払いを実現します。

(3) 実装方法

日本電気株式会社（社長：新野隆）が導入をサポートし、導入にかかるプロジェクト管理は、MS&ADシステムズ株式会社（社長：山内憲二）が担当します。

また、並行して、日本電気が提供する最先端AI技術群「NEC the WISE」を活用した業務効率化の検討も進めていきます。

2. 導入の背景

欧米やアジア等の諸外国では保険金不正請求の被害が大きく、社会問題となっているほか、日本国内でも組織的な犯行が増加しており、手口も複雑化・巧妙化しています。こうした中、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保は、健全かつ安定的な損害保険制度の運営に向け、保険金支払業務の高度化を図るべく、今般、シフトテクノロジー社が有するAI等の先進デジタル技術を活用した「フォース™」を導入することとしました。

(ご参考)

シフトテクノロジー社の概要

シフトテクノロジー社は、2014年にフランスで設立したスタートアップ企業です。2017年東京都が主催するフィンテック関連企業の誘致・育成を目的とした、アクセラレータプログラム「フィンテックビジネスキャンプ東京」に参加したほか、2018年1月には、東京都千代田区に日本法人を設立しました。同社が提供する「フォース™」は、世界17カ国で50社以上の保険会社・保険協会に採用されており、国内では、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保が初めて導入します。